

令和7年度
札幌芸術の森及び
本郷新記念札幌彫刻美術館
事業報告書

公益財団法人 札幌市芸術文化財団

目 次

I	管 理 業 務 の 実 施 状 況・・・・・・・・・・・・・・・・	1
II	管 理 業 務 に 係 る 収 支 決 算・・・・・・・・・・・・	31
III	管理に関する協定書 第34条に規定する自主事業の実施状況・・	32

I 管理業務の実施状況

1 統括管理業務

▽ 管理運営に係る基本方針の策定

【札幌芸術の森】

施設の設置目的と財団が策定した中期経営計画に基づき、第4期の基本方針を継承しつつ、検証、見直しを行い、札幌市文化芸術基本計画やその他の文化施策に対応し、次の5つの基本方針を策定している。

- ①あらゆる人々が文化芸術に容易に触れることができる多様な事業展開（社会包摂の実践）
- ②様々なアートシーン、ステップに応じた担い手の育成・支援（すそ野拡大、人材育成）
- ③新たな切り口による魅力発信とにぎわいの創出（施設の利用促進）
- ④人々が集い交流する場、地域拠点としての機能の充実（場の提供、交流の輪の創出）
- ⑤安全で利用しやすい施設づくり（利用者目線の施設整備）

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

札幌出身の彫刻家・本郷新の顕彰及び彫刻を中心とした美術の振興を図り、本郷新の残した作品・施設や生前の意思を引き継ぎつつ、幅広い年齢層を対象に美術館の運営をさらに進展させるため、財団が策定した中期経営計画に基づき、次の4つの基本方針を策定している。

- ①本郷新作品と関連資料の収集・保管、調査・研究、展示・公開
- ②彫刻を中心とした芸術文化の魅力を積極的に発信
- ③利用者の拡大と次代の担い手の育成
- ④市民に開かれ、立地環境を生かした施設運営

▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績

【札幌芸術の森】

利用受付は、利用者間の公平を図る観点から、受付開始日、締切日及び開始・終了時刻を定めているほか、受付は先着順とし、全ての利用者に対して公平な受付業務を行った。

受付の流れ、関連規則、施設の空き状況についても、分かりやすく十分に説明をするほか、ホームページ上で施設の空き状況を確認できるようにしている。

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

平等利用を確保するために、その方針及び取組項目を検討するとともに、研修会等を通じて、留意事項等について職員相互に基本的な考え方や心構えを確認した。

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

【札幌芸術の森】

「札幌市生活環境の確保に関する条例」に基づき、不要な電気・水・ガス・灯油等の節約に努め、二酸化炭素排出の抑制に取り組んだ。

▼ 冷暖房について

夏場 28℃、冬場 24℃の温度設定で継続的に節電を実施した。また、職員を対象にクールビズを促進した。

▼ 節電について

- ・従来より実施しているセンター事務所の照度 50%設定やセンター、アートホールロビー等の照明設備の間引き点灯を継続して実施した。センター事務所では休憩時間の照明を必要最低限なレベルまで間引き節電に努めた。
- ・電力需要がひっ迫する野外ステージの大型イベントの開催時に主催者手配により発電機を用意し、電力デマンドのピークカットに努めた。
- ・余分な電化製品のコンセントを抜く等、待機電力の削減に努めた。

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

「札幌市生活環境の確保に関する条例」に基づき、不要な電気・水・ガス・灯油等の節約に努め、二酸化炭素排出量の低減に努めた。

▽ 管理運営組織の確立（責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成）

【札幌芸術の森】

- ▼ 管理業務の一層の効率的運用、中長期での組織運営のあり方などについて検討し、必要に応じた適切な採用・適正部署への配置を行った。
- ▼ 統括責任者として芸術の森事業部長を、職務代理者として芸術の森事業部管理課長を配置している。
- ▼ 芸術の森美術館に、学芸員有資格を条件として採用した職員 8 人を配置している。
- ▼ 各職員の習熟度に応じた計画的な研修を行い、スキルアップに努めた。
 - ・ 4～5 月 新採用研修、コンプライアンス研修
 - ・ 6 月 普通救命（AED）講習
 - ・ 7 月 安全運転講習
 - ・ 7～9 月 情報セキュリティポリシー研修

- ・12月 管理職マネジメント研修
- ・2月 コンプライアンス研修
- ・通年
防火管理講習
職長・安全衛生管理者講習

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

- ▼ 統括責任者として彫刻美術館課長を、職務代理者として彫刻美術館業務係長を配置しているほか、業務分担、連絡系統等を定めた。
- ▼ 本郷新記念札幌彫刻美術館に、学芸員の資格を有する職員2人を配置している。
- ▼ 各職員の習熟度に応じた研修を計画的に行い、スキルアップに努めた。札幌芸術の森との合同で職員研修を行ったほか、館独自で現場研修や各展覧会ごとにパート職員を含めた研修を実施した。
 - ・4～5月 新採用研修、コンプライアンス研修
 - ・6月 普通救命（AED）講習、現場研修「山内壮夫」展
 - ・7月 安全運転講習
 - ・7～9月 情報セキュリティポリシー研修
 - ・9月 現場研修「生命体の存在」展
 - ・10月 現場研修「彫刻三昧」展
 - ・12月 管理職マネジメント研修、自衛消防訓練
 - ・2月 現場研修「かく語りき本郷新」展、コンプライアンス研修
 - ・3月 個人情報の取扱いに関する研修

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

【札幌芸術の森】

- ▼ 財団内 LAN によるグループウェアを活用し、事業部内及び財団全体の職員間で情報共有を行った。併せて、令和7年度は財団4施設において施設予約システムの更新・統一を行い、利用者の利便性向上を図った。
- ▼ 園内に点在する施設間においても、来園者と接する機会の多い委託業者（受付、警備、施設設備管理、清掃）と職員間での情報共有ツールとして、上記グループウェアや内線、携帯電話による連絡網もあわせて活用した。
- ▼ 安定した管理体制と来園者へのサービス向上を目指し、職員と常駐委託業者が事故や問題点、今後の予定など、お客様対応に必要な情報の共有や意見交換を行うための会議を毎週、実施した。
- ▼ 令和7年度に職員が使用する業務用端末をデスクトップ型 PC からノートブック型 PC に変更したことに伴い、情報セキュリティポリシーに照らし合わせて、随時、会議の場への端末の持ち込み運用などを行った。これにより、議事録作成や情報参照の円滑化を実現させ、ペーパーレス化の推進や、機動性の向上に寄与することができた。

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

- ▼ 財団内 LAN によるグループウェアを活用し、美術館内及び財団全体での情報共有を行った。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理

(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

【札幌芸術の森】

- ▼ 計画書、仕様書に基づき、清掃、庭園管理等の業務を専門業者へ再委託し、適正な業務遂行を実施した。
- ▼ 第三者に対する委託に関して、入札等による適切な契約を行うことにより、経費節減と業務内容の充実と向上に努めた。なお、経費節減等が期待できる一部の業務については、複数年契約を締結した。
- ▼ 受託者の業務については立会を行うとともに作業完了報告書の確認と業務内容の検査を実施し、適正な業務を遂行させることができた。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

【札幌芸術の森】

▼ 札幌芸術の森運営協議会の開催

開催回	協議・報告内容
第 1 回 (6 月 24 日)	(1) 令和 6 年度管理運営業務の報告について (2) 令和 7 年度管理運営業務の経過報告について (3) その他
第 2 回 (9 月 17 日)	(1) 管理運営業務の経過報告について (2) その他
第 3 回 (12 月 17 日)	(1) 管理運営業務の経過報告について (2) その他
第 4 回 (3 月 18 日)	(1) 管理運営業務の経過報告について (2) その他
<協議会メンバー> 地 域 : 芸術の森地区まちづくりセンター所長 利用者 : 施設利用者 有識者 : 放送局、コンベンションビューロー、大学教授、MICE 団体 ボランティア団体 : 野外美術館解説ボランティア 札幌市 : 市民文化局文化部長 指定管理者 : 芸術の森事業部長	

▼ 政策推進連絡会の開催

開催回	協議・報告内容
第 1 回 (8 月 7 日)	(1) 各施設の重点取組事項について (2) 議題 ①令和 8 年度予算要求に向けて ②出資団体評価について ③委託費補填の次年度以降の予算について 当財団における委託費補填の取扱と次年度以降について ④50 万円以上の修繕・設備投資の取扱について 当財団の修繕・設備投資の規模と今後の財団収支の影響について (3) その他意見交換
第 2 回 (1 月 14 日)	(1) 今年度の予算執行見込と次年度予算について (2) 次年度の事業展開について (3) 令和 7 年度の運営状況について (進捗報告) (4) 令和 8 年度の運営予定について (5) 運用改正等 (6) 令和 8 年度文化部予算について (7) 料金改定について (8) その他

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

▼ 本郷新記念札幌彫刻美術館運営協議会の開催

開催回	協議・報告内容
第 1 回 8 月 28 日	・令和 6 年度事業報告 ・令和 7 年度事業経過報告 (4～7 月)
第 2 回 12 月 9 日	・令和 7 年度事業経過報告 (8～11 月) ・令和 8 年度事業企画状況
第 3 回 3 月 24 日	・令和 7 年度事業経過報告 (12～3 月) ・令和 8 年度事業企画状況
<協議会メンバー> 利用者団体：札幌市立大倉山小学校 PTA 利用者団体：札幌彫刻美術館友の会会長 地元自治会：宮の森明和会会長 学識経験者：札幌市立三角山小学校校長 学識経験者：彫刻家 札幌市：市民文化局文化部文化振興課課長 指定管理者：芸術の森事業部彫刻美術館課長	

▽ 財務（資金管理、現金の適正管理）

【札幌芸術の森】

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

- ▼ 資金管理については、指定管理業務、自主事業ごとの区分経理を実施しており、公認会計士による外部会計監査を導入している。また、内部監査やセルフモニタリングにより、当財団管理施設をまたいだ相互的なチェック体制を導入している。
- ▼ 現金等の取扱いについては、現金取扱要綱を整備しており、出納員及び分任出納員による一元管理を行っている。また、複数職員でのチェックを行うことで、事故防止に努めた。

▽ 要望・苦情対応

【札幌芸術の森】

- ▼ お客様からの要望・苦情があった場合には、文書や財団内 LAN によるグループウェア等を活用し、担当課及び関連部署の職員間で速やかに情報共有を図り、対応確認を行った。指摘事項に関しては、担当者間で協議し、利用者の利便性を優先した迅速な対応に努めた。
また、アンケートにて要望のあった事項について、対応なども含めホームページで閲覧できるようにしている。
- ▼ 創作普及課では、利用者の要望が多い木工房にて利用者との意見交換会や説明会を行い、貸工房利用ルールの確認・周知や、利用者の意見を運用に生かす要望対応などにも努めた。
- ▼ 札幌芸術の森ホームページに寄せられる問い合わせについても、関係部署で情報共有を図り回答した。

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

- ▼ 要望・苦情のあった際は職員間で情報を共有し、迅速に検討・対応した。
- ▼ 代表メールアドレス宛に届いた問い合わせに対しても、情報共有を図り、迅速に回答した。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価（記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施）

【札幌芸術の森・本郷新記念札幌彫刻美術館】

- ▼ 指定管理業務に関する下記の記録・帳簿等については適切に整備保管した。
 - ・事業日誌等
 - ・管理業務に関する諸規程
 - ・文書管理簿
 - ・各年度の事業計画及び事業報告書

- ・収支予算・決算に関する書類
- ・金銭出納に関する帳簿
- ・物品の受払いに関する帳簿
- ・各種業務に関する記録書類及び札幌市が必要と認める書類

▼ セルフモニタリングについては、来園者、利用者の満足度を測定するため、アンケート調査を実施した。また、セルフモニタリングや業務・財務検査を通して管理運営に関する自己チェックを実施した。

▼ 札幌市による施設の管理運営に関する検査等へは誠実に対応した。

▼ 自己評価の実施については、施設の利用状況、主催・自主事業の実施状況等について、毎年度、事業報告書と合わせて札幌市に提出している。

2 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上

▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上（事故の有無などの安全衛生面を含む）

【札幌芸術の森・本郷新記念札幌彫刻美術館】

- ▼ 適正な内容で 36 協定を締結したほか、雇用環境の維持向上のため、関係法令に基づき財団諸規則等の見直しを行い、労働基準監督署に届け出た。
 - ▼ 給与の額や支給方法等の雇用条件については、財団の例規として、職員、契約職員、パート職員の各々について就業規則を定めているほか、職員については別途給与規程を制定し明示している。これらを変更する場合には職員の過半数を代表する者の意見を聴取し、行政官庁への届出を行っている。また、賃金台帳など法定帳簿等も整備している。
 - ▼ 就業規則を含む例規集は、グループウェアにより、常に各職員が閲覧可能な状態としている。
 - ▼ 札幌市ワーク・ライフ・バランス plus 企業（ステップ3）として認証を受けているほか、4年計画で策定した次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を現在遂行中である。
 - ▼ 毎月の給与計算や社会保険・労働保険関係の各種手続き等は、社会保険労務士事務所への委託により実施し、労働関係法令改正への対応についても、受託先の社会保険労務士と相談して行っている。
 - ▼ 労働安全衛生法及び当財団衛生委員会要綱に基づき衛生委員会を開催し、衛生管理者、産業医とともに労働災害の防止、職員の健康管理及び職場環境の向上に努めている。
 - ▼ 産業医の選任のほか、顧問弁護士も導入しており、これらの専門家による、心身の健康面、雇用、仕事以外の事柄も含めた個別相談に応じる体制を採っている。また、各種ハラスメント対応のための専用相談窓口を設けている。
 - ▼ 高齢者等雇用の安定等に関する法律に基づき、定年（61歳）退職後に、希望者を 65 歳まで継続雇用し、高齢者の雇用を促進した。
 - ▼ 木工房の管理運営に係る法令・通知・公示と安全衛生の向上や労働災害防止を目的とする各工作機械のガイドラインについて、業界団体の定期刊行物の購読により情報収集に務めたほか、労働安全衛生法に準拠した木工房管理マニュアルを整備し、安全な工房管理に務めている。
- 令和6年度より、法令に基づき、有機溶剤を取り扱う版画工房において、講習を受講した専門職員を「化学物質管理者」「保護具着用管理責任者」として配置している。また、版画工房において年間2回の作業環境測定を実施し、適切な作業環境維持がなされていることを確認した。
- ▼ 労働災害・事故について、2件の労働災害が発生した。
 - ▼ 労働災害を防止するための対策として、衛生委員会や常駐業者も含めた施設ミーティングの中で注意喚起や必要な情報の共有を日常的に行うほか、職員に順次、労働安全衛生法による職長・安全責任者講習を受講させ、意識向上に努めている。

3 施設・設備等の維持管理業務

- ▽ 総括的事項（利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入）

【札幌芸術の森】

- ▼ 利用者の安全を確保するため、定期的な巡回を実施するとともに、園内施設および設備の点検・維持管理を適切に行った。

また、管理課職員と常駐委託業者を構成員とする施設連絡会議を週1回開催し、施設管理に関する情報共有および安全意識の統一を図りながら、適切な施設管理業務を実施した。

- ▼ 財団4施設において新施設予約システムの導入を行い、利用者が1つのアカウントで財団が指定管理する他施設の予約もできるようになった。

- ▼ 施設内へのヒグマ進入防止対策として、施設外周への電気柵設置を継続して実施し、利用者が安心して施設を利用できる環境の確保に努めた。また、電気柵の維持管理については、専門業者への保守点検の業務委託に加え、職員による日常的な目視点検を実施することで、設備の適切な維持管理および異常の早期発見に努め、安全性の向上と事故の未然防止を図った。

- ▼ 冬季は、除雪業者と緊密な連携を図り、急な天候の変化にも迅速かつきめ細やかに対応することで、来園者の利便性の維持と安全確保に努めた。また、車道や園路の凍結時には、砂まきや融雪剤の散布を適宜実施するとともに、注意喚起の掲示を強化することで、転倒事故等の未然防止に努めた。

- ▼ 拾得物の取扱いについては、所轄の警察署の助言を踏まえて改訂した拾得物取扱マニュアルに基づき、適切かつ確実に対応している。また、拾得物が速やかに落とし主へ返却されるよう、職員およびスタッフ間で情報共有を随時行い、利用者サービスの向上と信頼性の確保に努めた。

- ▼ 損害賠償保険は継続して、仕様に適合したものに加入した。

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

▼ 利用者の安全については、本館、記念館敷地の巡視、館内モニターに常に留意することによって事故防止に努めている。

傾斜路である本館、記念館玄関アプローチでの冬季の転倒事故を防ぐため、営業時間内は路面状況の変化を常に注視し、除雪、氷割り、砂まき作業に即応した。記念館1階の段差にてつまずく来館者が見受けられたので、2か所に手摺を設置した。

近隣でのクマ出没情報に関しては、来館者や電話などでの問い合わせに対し適宜対応した。

▼ 拾得物扱いについては、財団の拾得物マニュアルに従って届け出に迅速に対応し、利用者サービスの向上に努めた。

▼ 損害賠償保険は仕様に適合した施設賠償責任保険に加入した。

▽ 施設・設備等の維持管理（清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等）

【札幌芸術の森】

▼ 施設の維持管理にあたっては、来園者の安全性および快適性の確保を最優先に、適切な管理運営を実施した。

また、清掃・警備等の施設管理業務をはじめ、設備保守、美術館管理、緑地・外構管理など計47業務について専門性を有する第三者へ委託し、効率的かつ適切な維持管理に努めた。

▼ 主な修繕について

- ①美術館 第2収蔵庫冷却塔モータファン交換
- ②美術館 第2収蔵庫冷温水発生機部品交換
- ③美術館 冷却塔 散布水ポンプの修繕
- ④絵画アトリエ アトリエ階段の外灯電源改修工事

▼ 備品管理について

日常・定期点検、専門業者による保守点検、清掃などを実施し、異常を早期発見するとともに、適正な管理を実施した。

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

▼ 本館、記念館施設、設備の維持、管理については適切に実施し、仕様書の水準を達成した。なお、警備業務、外構緑地管理業務は第三者委託により実施した。

▼ 主な修繕について

- ①本館門扉カニヌキ錠修理
- ②事務室照明器具交換
- ③本館女子トイレ温水洗浄便座交換

▽ 防災

【札幌芸術の森】

▼ 下記のとおり、防災訓練等を実施した。

- ・ 第1回消防訓練（総合訓練） 11月14日
- ・ 第2回消防訓練（通報訓練） 3月24日・25日

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

▼ 下記のとおり、防災訓練等を実施した。

防災計画を策定するとともに、12月27日に自衛消防訓練を実施した。

※本館ボイラー室からの出火を想定した総合訓練

4 事業の計画・実施業務

【札幌芸術の森】

▽ 音楽・舞台芸術事業

▼ 札幌の文化芸術発信事業 サッポロ・シティ・ジャズ 2025

札幌の観光文化事業を担う独自のジャズイベントとして開催19回目を迎えた。ジャズの街さっぽろを国内外に発信し、都市のブランド力を高め、観光資源の創出を図るとともに、ジャズによる人材育成や市民参加活動の促進など、魅力ある街づくりに繋がる様々な事業を実施した。

①シアタージャズライブ

入場者数：3,280人

11月、高機能ホール「札幌文化芸術劇場 hitaru」を会場に、舞台上にステージと客席を設け、5日間8公演を実施した。世界中で活躍するキャンディ・ダルファーをはじめ、ヨーロッパ最高峰のギター奏者ビレリ・ラグレーンや、札幌ジュニアジャズスクール出身の寺久保エレナが出演し、盛況となった。

②市民交流プラザを活用した普及事業

入場者数：4,620人

使間連携事業の一環として札幌市民交流プラザの機能を活用し、ジャズの入り口として身体が不自由な方を含む誰もが楽しめる「ユニバーサルジャズライブ」や、親子で一緒に楽しめる体験型ライブ「デイトタイム親子ジャズ」、楽器初心者を対象とした楽器体験イベント「Do Jazz！見てさわって楽器体験！」をクリエイティブスタジオで開催。

札幌市図書・情報館とのタイアップによる「ジャズライブラリー」では、シアタージャズライブ出演者が影響を受けた選書を展示したほか、『JAZZ 批評』元編集長の原田和典によるトークイベントを実施した。

③企業・団体とのタイアップによる事業

入場者数：54,162人

チ・カ・ホを会場とした「サッポロ・サウンド・スクエア」や、札幌市交通局とのタイアップイベントである「SCJ Live in 札幌市交通資料館」、札幌市役所での「市民ロビーコンサート」、札幌市のイベントである「ライラックまつり」、「さっぽろオータムフェスト」など、さまざまな企業・団体・イベントとタイアップし、地域のにぎわいを創出し魅力をアップさせるジャズライブを地元ミュージシャンに出演いただき開催した。

▼ 次世代の文化芸術の担い手の育成・支援事業

①第26期札幌ジュニアジャズスクール

参加者数：40人（小学生22人、中学生18人）

26年目を迎えた当事業では、札幌芸術の森での毎週末の定期練習を中心に、市内外での演奏会への出演や、イベントでの演奏などの活動を通年で実施した。Seiko Summer Jazz Campの講師陣によるワークショップや、藻岩山の清掃活動、高齢者施設での慰問演奏など、充実した活動を行うことができた。

②北海道ジャズの種プロジェクト

参加者数：59人

ジュニアジャズ活動の振興と地域の活性化を目的とした北海道ジャズの種プロジェクトでは、道内4地域（広尾、ようてい、幕別、砂川）のジャズスクールと連携し、札幌での合同合宿や、広尾町での合同演奏会「ともだちコンサート」を実施した。

③札幌ジュニアジャズスクール国際交流事業

参加者数：中学生17人

国際交流事業として札幌ジュニアジャズスクール中学生クラスが13年振りにノルウェーを訪問。オスロ市で開催された青少年のためのジャズフェスティバル「Kids in Jazz」に参加し、現地ノルウェーをはじめフェロー諸島やアイスランド、イタリアなど各国から集まった子どもたちと、ジャズを通じた交流を行った。また演奏以外にも、在ノルウェー日本国大使館への表敬訪問や、彫刻家グスタフ・ヴィーゲランの作品が並ぶ公園の見学など、様々な活動に取り組んだ。

④札幌芸術の森バレエセミナー2025

受講者数：96 人（内 18 人は一般・指導者向け講座受講者）

見学者数：402 人

若手ダンサー育成を目的として 35 回目を迎えた当セミナーは、パリ・オペラ座バレエ団教師のジル・イゾアールを主任講師に迎え、同団元エトワールのエリザベット・モラン、コンテンポラリーダンサーの刈谷円香など世界で活躍する講師陣を招き、クラシックからコンテンポラリーまでの充実したプログラムを揃え 5 日間にわたり開催した。

期間中、過年度受講生でパリ・オペラ座団員の山本小春の公開レッスンを実施したほか、市民交流プラザ事業部との連携により、ジル・イゾアールの公開トークを札幌市図書・情報館で開催した。

▼ 芸術文化を通じた市民活動の促進

①パークジャズライブ

入場者数：50,169 人 参加者数：223 バンド

プロ・アマ不問で市民ミュージシャンに広く発表の機会を与え、音楽による市民活動を促進し市民文化を醸成することを目的として、全国から出演者を募集し、7 月に 2 日間にわたり市内中心部の大通公園や豊平館など全 12 会場で無料ライブを開催した。

また、サッポロ・シティ・ジャズ全体を支える市民ボランティア「ジャズセーバーズ」を組織し、パークジャズライブやシアタージャズライブなど各イベントの運営を支える活動を行った。

▼ 質の高い文化芸術の創造・提供

①シアタージャズライブ [再掲]

▽ 芸術の森美術館事業

▼ 展覧会事業

展覧会企画数：8 本

総入館者数：77,479 人

（自主事業「札幌美術展 下沢敏也 origin—土の命脈」「リフレクションズ—いつかの光」を含む。）

①コスチュームジュエリー 美の変革者たち シャネル、ディオール、スキャパレリ 小瀧千佐子コレクションより

会期：令和 7 年 4 月 19 日（土）～6 月 22 日（日） 63 日間

入場者数：17,210 人

宝石や貴金属を用いず、ガラスや貝、樹脂など多様な素材で制作される装身具・コスチュームジュエリー。宝飾品の既成概念から解放され、女性の社会進出が進む当時の世相と相まって、彼女たちの自立と個性を表現するアイテムとし

て絶大な支持を得た。本展では、コスチュームジュエリーの世界的なコレクターである小瀧千佐子氏のコレクションから 454 点の作品を展観し、コスチュームジュエリーの歴史的展開とその魅力を紹介した。

②小松美羽 祈り 宿る Sacred Nexus: Resonating with Cosmos

会期：令和 7 年 7 月 5 日（土）～ 8 月 31 日（日） 58 日間

入場者数：19,167 人

狛犬や龍などの神獣を描く現代アーティスト小松美羽は、その画業において「霊性」という視点から、宇宙や精神世界を含む森羅万象に宿る力を顕現させ、調和させることを試みてきた。本展では、作家の代名詞である神獣を核に、各地の民話を図像化した連作、独自の宇宙観による大型作品、北海道の風土から想を得た新作を含む 70 点を展観し、作家が真摯に取り組んできた祈りと制作の往還を紹介した。

③札幌美術展 下沢敏也 origin—土の命脈

会期：令和 7 年 9 月 13 日（土）～ 11 月 3 日（月・祝） 52 日間

入場者数：4,742 人

陶によるインスタレーション作品を 20 年以上にわたり展開する下沢敏也の個展を開催。従来の陶表現を越え、生命の果てゆく姿と、その残り火の中から再び生れ出ようとする予感が静謐さのなかに充溢するインスタレーションなど 39 点を展観し、北海道の陶土を素材に独自の技法を探究する下沢が挑む、造形表現の今に迫った。

④リフレクションズ—いつかの光

会期：令和 7 年 11 月 15 日（土）～ 12 月 21 日（日） 32 日間

入場者数：2,339 人

北海道ゆかりの 5 組の作家による現代美術展。眼前の風景や自然現象を鋭敏に知覚し、絵画、彫刻、写真、映像、音響などそれぞれの手法で表わした作品群を展観し、世界を捉えるあらたな視点を提示した。

出品作家：青木陵子＋伊藤存、池田光弘、国松希根太、野口里佳、平川紀道

⑤ 0 さいからのげいじゅつのもり

会期：令和 8 年 1 月 17 日（土）～4 月 12 日（日） 74 日間（令和 7 年度 63 日間）

入場者数：12,523 人（令和 7 年度）

平成 26 年以降、雪の影響を受ける季節に子どもたちの数少ない遊び場として企画されてきた「0 さいからのげいじゅつのもり」展の 7 年ぶり 7 回目の開催。美術館のコレクションを中心に、0 歳から大人まで夢中になれる仕掛けを凝らした鑑賞や、身体をめいっぱい動かして楽しむ体験を通して、誰もが気兼ねなくアートに親しめる空間を展開した。

⑥ 札幌芸術の森美術館所蔵品展 W.S. クラークの像

会期：令和 7 年 4 月 19 日（土）～6 月 22 日（日） 63 日間

入場者数：13,512 人

さっぽろ羊ヶ丘展望台に設置されている《丘の上のクラーク》の石膏原型（札幌芸術の森美術館蔵）をはじめ、関連資料を展示し、北海道でのクラークにまつわる歴史をひも解いた。

⑦ 札幌芸術の森美術館所蔵品展 豊平館の画家たち

会期：令和 7 年 9 月 13 日（土）～11 月 3 日（月・祝） 52 日間

入場者数：5,108 人

芸術の森美術館所蔵作品と関連資料から、北海道初の大規模宿泊施設として設置された豊平館の歴史を紐解き検証した。

⑧ 道又蒼彩 個展 “relief”

会期：令和 7 年 11 月 15 日（土）～12 月 21 日（日） 32 日間

入場者数：2,878 人

北海道を拠点に活動する美術家・道又蒼彩（2000-）の個展を開催した。「安堵（relief）」をテーマに、コミュニティに属する安心感やそこにとどまり続けることへの不安に目を向けて描かれた木版画を、新作を含めて 12 点紹介した。

▼ 野外美術館

期日：令和 7 年 4 月 29 日（火・祝）～11 月 3 日（月・祝）

入場者数：39,429 人

※上記期間中、謎解きイベント「時紡ぐミュージアムの約束」、「五感であそぶ謎解き 招かれざる客～消えた彫刻の行方～」を併せて実施した。

来館者への作品鑑賞サポートとして、野外美術館作品解説ボランティア 29 名による作品解説を行った。また、野外美術館の作品鑑賞の手引きとして、「彫刻鑑賞ノート」と、シールを貼りながら作品を楽しく学ぶことができる子ども向けの「シールマップ」を販売した。

加えて、自分のスマホで作品解説を聞ける「ポケット学芸員」の提供を行った。
令和8年4月より、札幌市宿泊税活用事業として、上記アプリの多言語対応業務を実施予定。

▼ 教育普及に関する事業

[佐藤忠良子どもアトリエ]

当財団の中期経営計画の重点取組項目である子どもたちの芸術文化活動の充実に取り組む事業として、彫刻家佐藤忠良作品を中心とした所蔵品を展示するとともに、子どもを主な対象としたワークショップの企画・実施をした。

①特別ワークショップ「光の箱」

期日：令和7年5月3日（土・祝）

参加者数：36名

造形作家・松村泰三氏考案の、光と色の変化を楽しむことができる「光の箱」を制作するワークショップを行った。箱の中にミラーフィルムで作った筒を配置し、カラーセロハンを片面に貼り付け、自分だけの光の箱を制作した。”

②夏休み特別ワークショップ「岩えのぐで涼うちわ」

期日：令和7年8月6日（水）～9日（土）、8月12日（火）～16日（土）

（計9日間、18回）

参加者数：46名

日本画の基本的な技法を手軽に体験できる機会として、うちわに「かき氷」を描くワークショップを行った。あらかじめドーサ引きを施した木うちわに線画を転写し、墨で線を描き起こしてから、岩絵具と胡粉ジェッソ（下地剤）などを使って着彩した。”

③冬休み特別ワークショップ「ちびっこ油絵」

期日：令和8年1月10日（土）～12日（月・祝）、15日（木）～16日（金）

（計5日間、10回）

参加者数：43名

額縁販売数：12個

道具や画材を提供し、F4サイズのキャンバスに自由に制作するワークショップを行った。同時に額縁の販売を行い、額装による見え方の違いを体験してもらった。

▼ 芸術の森開園 40 周年事業

①小松美羽 ライブペインティング

期日：令和 7 年 6 月 14 日（土）

会場：札幌芸術の森野外美術館 佐藤忠良記念子どもアトリエ前広場

入場者数：310 人

野外美術館の緑豊かで開放的な空間を舞台に、現代アーティスト小松美羽によるライブペインティングを実施した。当日は YouTube でのライブ配信を実施するとともに、その後もアーカイブ動画を公開し、多くの方に鑑賞機会を提供した（再生回数 3.2 万回、3 月 31 日時点）。

②札幌芸術の森 おはなしコンサート

実施校・期日・参加人数：

①手稲宮丘小学校（令和 7 年 7 月 9 日）、100 人

②栄緑小学校（令和 7 年 7 月 10 日）、124 人

③真栄小学校（令和 7 年 7 月 11 日）、67 人

④共栄小学校（令和 7 年 7 月 11 日）、81 人

ピアニストの金子三勇士を招き、市内小学校にてアウトリーチプログラムを行った。野外美術館の彫刻作品から連想したクラシックの名曲を、札幌市在住の映像作家・北川陽稔による彫刻作品の映像とともに演奏し、曲にまつわるエピソードや芸術の楽しみ方について紹介した。

③金子三勇士ピアノコンサート～森の彫刻とともに～

期 日： 令和 7 年 9 月 13 日（土）

会 場：札幌芸術の森野外美術館 佐藤忠良記念子どもアトリエ前広場

入場者数：135 人

ピアニストの金子三勇士を招き、野外美術館内に特設ステージを設け、ピアノコンサートを開催した。金子氏が野外美術館の彫刻作品からインスピレーションを得た楽曲を中心に、計 12 曲を演奏した。

④Kitara×札幌芸術の森連携事業 金子三勇士ピアノリサイタル～芸術の森を歩いて～

期 日：令和 7 年 9 月 28 日（日）

会 場：札幌コンサートホール Kitara 大ホール

入場者数：724 人

Kitara と芸術の森の連携事業として、ピアニストの金子三勇士を招き、ピアノコンサートを開催した。第一部において、野外美術館の彫刻作品から連想したクラシックの名曲を北川陽稔による作品の映像とともに演奏した。

▽ 工芸・工房事業

▼ 第25期工芸作品展示事業

クラフト作家への展示・販売機会の提供、使い手となる市民への良質なクラフト作品の紹介と購入できる場の提供を目的に、工芸館展示ホールにおいて、札幌圏を中心とした道内クラフト作家の作品を展示販売。令和7年度は2期に分け、季節をテーマに展示作品の入れ替えを行った。

今年度の出品作家は北海道内で活動する46人。

また、工芸作品の一部を芸術の森ホームページにてオンライン販売し、29,920円の販売実績があった。

会期：

「春の森、夏の森」令和7年4月19日（土）～8月31日（日）

「秋の森、冬の森」令和7年10月18日（土）～令和8年3月22日（日）

※令和7年11月1日（土）～令和8年3月22日（日）は平日休館（土日祝のみ開場）

会場：工芸館展示ホール

幹旋販売額：6,499,938円（前年度実績：6,093,671円）

入場者数：30,836人（前年度実績：37,194人）”

▼ 工芸館コレクション展

工芸館の収蔵品からテーマごとに作品を選出し、クラフトギャラリー「ベストポケット」と併設展示した。

テーマは①「木の譜面台と椅子」、②「クリスマス」、③「干支(午)」。

会期：

①令和7年4月19日（土）～8月31日（日）

②令和7年11月15日（土）～12月21日（日）

③令和7年12月27日（土）～令和8年3月22日（日）

※②、③は平日休館（土日祝のみ開場）

会場：工芸館展示ホール

入場者数：28,858人（「ベストポケット」入場者数再計）”

▼ 森から生まれたクラフト展 2025

陶芸・木工・テキスタイル・七宝・版画等の各種講習会受講者や、各工房の利用者が制作した作品を「芸術の森の中で生み出された作品」として展示・販売。初心者から経験者まで、市民に作品発表の場を提供するとともに、講習会や貸工房のPRも兼ねており、来場者が”ものづくり”に魅力を感じ、興味を持つきっかけとなることを目指して開催した。

会期：令和7年9月13日（土）～9月28日（日）

会場：工芸館展示ホール

入場者数：3,008 人

出品者数：34 人 出品数：約 237 点

関連事業「登り窯焼成」

芸術の森の登り窯を活用して、講習会受講者や陶工房利用者、北海道陶芸協会が制作した作品(約 500 点)の焼成を行った。焼成された作品の一部の作品を「森から生まれたクラフト展 2025」にて展示した。

会期：令和 7 年 8 月 25 日(月)～8 月 31 日(日)焼成

令和 7 年 9 月 1 日(月)窯出し

会場：登り窯

参加者数：78 人”

▼ 第 31 回芸術の森地区文化祭

札幌市南区芸術の森地区連合町内会による文化事業。芸術の森地区まちづくりセンターと連携し、芸術の森を会場に絵画、写真、書道、工芸等、地域の方々の創作活動の発表の場となる展覧会を開催した。

会期：令和 7 年 10 月 4 日(土)～10 月 5 日(日)

会場：工芸館展示ホール

入場者数：463 人

▼ 工芸・版画講習会事業

クラフト工房と各工房において、ものづくりを愛好する人の裾野拡大と技術習得・向上を目的とした講習会を通年で開催した。陶芸、テキスタイル、手織、木工、七宝、ガラス、版画の各分野で、個人向けの講習会と団体向けのグループ講習会、また予約なしで気軽に作品制作が楽しめる「ふらっとクラフト体験」に加え、作家を講師に招いたワークショップや木工房の大型製材機経験者を対象とした大型製材機安全講習会を開催するなど、初心者から上級者まで幅広い層を対象としたプログラムを実施した。また、ゴールデンウィーク、芸術の森バースデイ、夏・冬休みには子どもが参加できる講座を増やし、子どもたちの参加促進を図った。

会期：令和 7 年 4 月 1 日(火)～令和 8 年 3 月 31 日(火)

会場：クラフト工房(大・中・小制作室)、木工房、織工房、染工房、版画工房

講習会総実施回数：300 回(前年度実績：329 回)

講習会総受講者数：4,562 人(前年度実績：4,466 人)

ふらっと体験参加者数：1,901 人(前年度実績：1,665 人)

(織機でコースター体験を含む)

▼ アウトリーチ事業

①札幌市民交流プラザ2階 SCARTS スタジオにてアウトリーチを行い、陶器の絵付け、和紙のちぎり絵、木工キューブパズルなど、気軽にものづくりを体験できる場を提供するとともに芸術の森のPRを図った。

会期：令和7年10月4日（土）～10月5日（日）

会場：札幌市民交流プラザ2階 SCARTS スタジオ1・2

実施回数：1回（前年度実績：1回）

実施人数：69人（前年度実績：122人）

▽ その他の文化芸術事業

▼ 芸術の森アートマーケット

札幌芸術の森の園内を会場に、市民アーティストの相互交流や発表の機会の創出を目的に、様々なジャンルの手作りアート作品によるアートマーケットを開催した。

▽ 各種団体との提携による文化芸術の振興

▼ 各種団体との連携による文化芸術の振興

①各種団体共催・施設利用促進事業

入場者数：523人

芸術の森施設を活用し、各種団体との共催事業を実施。アートホールでの「Sapporo 未来 Jazz 2025」や、芸術の森の自然風景を生かしたコスプレイベントなどを共催により実施した。

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

▽ 展覧会事業

▼ 総入館者数 10,871人

（本館 7,722人、記念館 3,149人）

● 特別展

【本館】

下記の展覧会を開催した。

①「没後50年 山内壮夫展」

会期：令和7年6月14日（土）～9月28日（日） 92日間

入場者数：1,804人

②「札幌芸術の森開園40周年記念 彫刻三昧 札幌芸術の森美術館の名品50選」

会期：令和7年10月11日（土）～令和8年1月4日（日） 69日間

入場者数：886 人

③「札幌彫刻賞歴代受賞者パネル展」

会期：令和5年9月16日（土）～令和7年5月25日（日）

514 日間（令和7年度48日間）

入場者数7,807 人（令和7年度645 人）

④「さっぽろ雪像彫刻展 2026」

会期：令和8年1月23日（金）～25日（日）3日間

入場者数：607 人

⑤札幌芸術の森美術館コレクションロビー展示「追悼 國松明日香展」プレ展示

会期：令和8年1月9日（金）～5月24日（日）117 日間（令和7年度70日間）

入場者数：1,420 人

● アウトリーチ展示

①さっぽろ雪まつり出品「雪像彫刻 from 本郷新記念札幌彫刻美術館」

会期：令和8年2月4日（火）～11日（水・祝）8日間

会場：さっぽろ雪まつり大通6丁目会場

入場者数：1,926,000 人（第76回さっぽろ雪まつり大通会場来場者数）

● コレクション展

【記念館】

本郷新の代表作や野外彫刻の石膏原型などの常設展示を行った。

①「コレクション展 2024-2025」

会期：令和6年6月1日（土）～令和7年5月25日（日）

295 日間（令和7年度48日間）

入場者数：4,031 人（令和7年度505 人）

②「コレクション展 2025-2026」

会期：令和7年5月31日（土）～令和8年5月24日（日）

303 日間（令和7年度254日間）

入場者数：2,648 人

【本館】

①「本郷新生誕120年記念コレクション展 マンガでわかる本郷新」

会期：令和8年2月22日（日）～5月24日（日）

79 日間（令和7年度32日間）

入場者数：335 人

②「コレクション展 本郷新 彫刻の設計図リターンズ」

会期：令和7年3月8日（土）～5月25日（日）

68日間（令和7年度48日間）

入場者数：793人（令和7年度645人）

● 貸館事業

①北の美大展

会期：令和8年1月11日（日）～25日（日）13日間

主催：北の美大展実行委員会

入場者数：460人

②北海道教育大学 芸術・スポーツ文化学科 美術文化専攻 教員展 season1

会期：令和8年1月31日（土）～2月15日（日）14日間

主催：北海道教育大学 芸術・スポーツ文化学科 美術文化専攻

入場者数：271人

▽ 本郷新の業績を顕彰することを目的とした事業

▼ 本郷新記念札幌彫刻賞（第4回）

- ・受賞作品展示

会期：令和6年6月29日（土）～令和9年4月

会場：札幌芸術の森美術館中庭

▼子どもへの本郷新周知事業

- ・伝記マンガ「本郷新伝」出版
- ・トークイベント「マンガで伝える彫刻家本郷新の思い」

会期：令和8年3月21日（土）

会場：札幌市民交流プラザ

参加者数：75人

▼本郷新の調査研究

- ・本郷新の自著文献のデジタル化
- ・本郷新関係の文章の執筆、寄稿
- ・コレクション展、土曜講話などでの研究成果の発表

▽ 彫刻を中心とした美術に関する講座等の実施に関する業務

● 彫美連続講座

実施回数：3回

参加者数：267人（会場聴講205人、オンライン聴講62人）

会場：札幌市民交流プラザ（オンラインでも配信）

- 造形教室
 - ・夏休み造形教室参加者数：13 人
 - ・冬休み造形教室参加者数：15 人

- 館長と学芸員の日曜講話
- 実施回数：16 回
-
- 参加者数：404 人

- 札幌おしゃべり美術部
- 実施回数：3 回
-
- 参加者数：13 人

▽ その他彫刻美術館の設置目的を達成するための事業

▼ 促進事業

- サンクスデー
- 実施回数：2 回
-
- 入館者数：446 人（夏 163 人、秋 283 人）

▼ 学校協力

- 学芸員資格取得希望の大学生を対象とした博物館実習（館園実習）の受け入れ
参加学生数：大学生 10 人（7 日間）
- 北海道大学における当館リノベーション課題のための現地少佐対応
参加学生数：53 人
- 札幌西高等学校美術選択 1 年生展覧会鑑賞
参加生徒数：91 人
- 札幌市立啓明中学校職場体験の受け入れ
参加生徒数：7 人
- 札幌市立宮の森中学校 3 年生展覧会観覧
参加生徒数：45 人

▼ ボランティア活動の受け入れ

「ハロー！ミュージアム」で児童への鑑賞指導を行うボランティア（協力員）を受け入れ、実際の活動と事後の研修を行った。また、本郷新の自著をデジタル化する作業を「資料整理ボランティア」の協力のもと行った。

▼ 連携事業

財団他施設との連携

- ・札幌文化芸術交流センター SCARTS との連携
「彫美連続講座」の実施
- ・札幌芸術の森美術館との連携
第4回本郷新記念札幌彫刻賞受賞作品の展示
「彫刻三昧」における芸術の森美術館収蔵品の展示

5 施設利用に関する業務

▽ 利用件数等

▼ 施設の利用状況

- ・施設の利用状況

		R6実績	R7計画	R7実績
アート ホール アリーナ	件数(件)	233	240	203
	人数(人)	26,161	20,448	19,398
	稼働率(%)	65.3	67	67.9
アート ホール 練習室	件数(件)	2,293	2,219	1,986
	人数(人)	15,827	15,735	13,904
	稼働率(%)	64.2	62	65.7
野外 ステージ	件数(件)	36	40	12
	人数(人)	16,223	13,258	3,372
	稼働率(%)	19	21.4	13.2
各種 研修室	件数(件)	3,665	3,647	3,988
	人数(人)	4,582	4,451	5,042
	稼働率(%)	72.1	70.8	79.6
各種窯	件数(件)	302	305	413
	人数(人)	302	305	505
	稼働率(%)	33.7	32.5	34.9
各種 アトリエ・ ロτζジ	件数(件)	217	223	265
	人数(人)	1,370	1,475	1,946
	稼働率(%)	15.7	16.4	19.6
駐車場	件数(件)	51,574	66,988	41,600

▼ 入場者（人）

	R6実績	R7計画	R7実績
総入園者数	325,612	500,000	246,529
芸術の森美術館	123,103	170,000	77,479
芸術の森野外美術館	52,740	60,000	39,429

▽ 不承認 0 件、取消し 23 件、減免 691 件、還付 23 件

▽ 利用促進の取組

札幌芸術の森や文化芸術に気軽に親しんでもらうこと、来園者増を目的としたイベントを5事業開催した。

- ① スプリングフェスタ（札幌市立大学公開講座「札幌芸術の森 自然観察会」）
- ② 芸森バースデー2025（札幌ドラムサークルワークショップ・札幌ジュニアジャズスクール SJF Junior Jazz Orchestra バースデースペシャルライブ）
- ③ 野外美術館謎解きイベント「時紡ぐミュージアムの約束」、「五感であそぶ 謎解き 招かれざる客～消えた彫刻の行方～」
- ④ 芸森かんじきウォーク
- ⑤ 芸術の森地区 雪あかりの祭典

▼ 11月より新施設予約システムを導入し、札幌芸術の森・コンサートホール・札幌市民交流プラザの空き情報が確認可能となり、施設を横断的に確認できるようになった。また、利用者自身が申請状況を「マイページ」で確認可能となった。

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

▽ 利用件数等

▼ 施設の利用状況

展覧会事業		R6実績	R7計画	R7実績
本館 展示室	展覧会件数	6	6	7
	開館日数	245	275	241
記念館	展覧会件数	2	2	2
	開館日数	295	302	302
本館入館者数		12,399	9,000	7,722
記念館入館者数		3,962	5,000	3,149

その他事業		R 6 実績	R 7 計画	R 7 実績
本館展示室利用	利用件数	1	0	2
	利用日数	17	0	32
本館 研修室利用	利用件数	1	0	1
	利用日数	1	0	1
本館 屋外利用	利用件数	1	1	1
	利用日数	1	1	1

▽ 不承認 0 件、 取消し 0 件、 減免 0 件、 還付 0 件

▽ 利用促進の取組

「サンクスデー」として年 2 回無料開館し、ものづくりやオリジナル飲食物販売など楽しめるプログラムを実施し、幅広い層の来館を促す工夫をした。

キャッシュレス決済を導入し、多様な支払方法に対応した。

6 付随業務

▽ 広報業務

【札幌芸術の森】

▼ 広報の充実

園内の各施設の担当者が集まり広報会議を定期的に行い、施設や課、係それぞれが携わる様々な事業について情報を共有し、積極的な情報発信を図った。

▼ ホームページによる情報発信の充実

インバウンド向けのかんじきウォーク特設 Web サイトを開設し、海外からの来園者に向けて、より充実させた内容を発信した。また、季節にあわせてトップページのメイン写真を変更し、自然を含む芸術の森の魅力を伝えた。

サッポロ・シティ・ジャズやバレエセミナー等の情報量が多い事業は、引き続き個別のホームページを設け、ターゲットを絞った情報発信を行った。

・ホームページアクセス数 1,534,550 件 （参考）令和 6 年：1,824,987 件

▼ その他 SNS による情報発信の充実

X、Facebook や Instagram でリアルタイムの情報発信を行った。

▼ ニュースリリースによるマスコミへの情報提供

毎週、市政記者室をはじめマスコミ、事業関係者などに、芸術の森の最新情報をリリースする「今週の芸森。」をメールマガジン形式で配信するとともにホームページに掲載し、スピーディな情報発信に努めた。

- ▼ ウェブアクセシビリティ取組内容確認を実施し、令和8年2月19日にホームページに公開した。

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

- ▼ 通常のホームページ運営に加え、Facebook や X などの SNS でのこまやかな情報発信に努めた。事業ごとにターゲットを絞った SNS 広告を随時行い、効果的なコミュニケーションを試みた。また、宮の森地区連合町内会、近隣小学校へのチラシ配布を通じて地域住民への広報に積極的に取り組んだ。

ホームページアクセス数：29,795 件 （参考）令和6年：21,140 件

Facebook フォロワー数：1,423 件 （参考）令和6年：1,339 件

X フォロワー数：4,976 件 （参考）令和6年：5,015 件

芸術の森との連携により、広報ツール（ニュースリリースや情報紙もりくる）の共有も行っている。

- ▼ ウェブアクセシビリティ取組内容確認を令和8年1月20日に実施し、結果をホームページに公開した。

- ▼ ホームページの管理・運営にあたっては、日本工業規格 JIS X 8341-3:2016 の適合レベル AA に準拠するとして「ウェブアクセシビリティ方針」を定めて公開し、利用者の立場に立った情報の提供に努めている。また、同方針に基づいた運用試験を着実に行うよう準備を進めている。

- ▼ 美術館のポスターを制作し、近隣施設や関係各所に掲示を依頼しを行った。

7 自主事業

【札幌芸術の森】

- ▼ 札幌の文化芸術発信事業 サッポロ・シティ・ジャズ 2025

※音楽・舞台芸術事業再掲

札幌の観光文化事業を担う独自のジャズイベントとして開催 19 回目を迎えた。ジャズの街さっぽろを国内外に発信し、都市のブランド力を高め、観光資源の創出を図るとともに、ジャズによる人材育成や市民参加活動の促進など、魅力ある街づくりに繋がる様々な事業を実施した。

- ▼ 札幌美術展 下沢敏也 origin—土の命脈

会期：令和7年9月13日（土）～11月3日（月・祝） 52 日間

入場者数：4,742 人

陶によるインスタレーション作品を 20 年以上にわたり展開する下沢敏也の個展を開催。従来の陶表現を越え、生命の果てゆく姿と、その残り火の中から再び生れ出ようとする予感が静謐さのなかに充溢するインスタレーションなど 39 点を展覧し、北海道の陶土を素材に独自の技法を探究する下沢が挑む、造形表現の今に迫った。

▼ 子どもの文化芸術体験事業「ハロー！ミュージアム」

期間：令和7年4月25日（金）～令和8年2月19日（木）

会場：札幌芸術の森美術館、札幌芸術の森野外美術館、札幌芸術の森園内
（有島武郎旧邸を含む）、本郷新記念札幌彫刻美術館

参加児童数：計 13,539 人

参加学校数：計 192 校

活動回数：計 198 回

【芸術の森美術館おはなしコース】47 校 50 回

【美術館周辺おさんぽコース】22 校 22 回

【野外美術館おはなしコース】65 校 65 回

【野外美術館たんけんコース】51 校 51 回

【彫刻美術館おはなしコース】7 校 10 回

札幌市の小学5年生（特別支援学校小学部含む）を札幌芸術の森もしくは本郷新記念札幌彫刻美術館に招待し、鑑賞活動の楽しさを体験する5つのプログラムを実施。活動前に各学校の教員を対象とした会場見学会を実施し、各コースの会場において事業内容や活動場所の見学案内を行った。また、今年度はプログラム内容を見直し、受け入れ人数に制約のある「子どもアトリエコース」を終了し、新たに「美術館周辺おさんぽコース」と「野外美術館たんけんコース」を増設し、活動の充実化を図った。

▼ リフレクションズーいつかの光

会期：令和7年11月15日（土）～12月21日（日） 32日間

入場者数：2,339 人

北海道ゆかりの5組の作家による現代美術展。眼前の風景や自然現象を鋭敏に知覚し、絵画、彫刻、写真、映像、音響などそれぞれの手法で表わした作品群を展覧し、世界を捉えるあらたな視点を提示した。

出品作家：青木陵子＋伊藤存、池田光弘、国松希根太、野口里佳、平川紀道。

▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等

【札幌芸術の森】

- ▼ 例年同様、令和7年度も各種保守点検、修繕業務などの再委託については、その大部分を市内の企業に発注している。また、高齢者就労支援業者（シルバー人材センター）に受付業務の一部を委託した。また、福祉施設の活用として、札幌芸術の森美術館で開催される展覧会等の広報印刷物の封入作業や作業着等のクリーニングを、近隣の就労支援施設に発注している。

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

- ▼ 業務委託等は市内の企業を活用した。

8 利用者の満足度

【札幌芸術の森】

実施方法	令和7年4月～令和8年3月 施設・事業毎のアンケート用紙を作成し配布。
結果概要	回答 5,587 件 (施設利用者アンケート 262 件、事業アンケート 5,325 件) 施設に対する総合的な満足度は 95.1% (「とても良い」、「良い」、「普通」の合計) と、前年度より「とても良い」が増え、満足度を維持できた。職員の接遇に対する満足度については 94.8% (「とても良い」、「良い」、「普通」の合計) と、例年と同様の数値を維持できた。 いただいた意見や要望については、常駐業者も含め関係者に情報共有し、可能なものから都度迅速に対応するように努力した。"
利用者からの意見・要望とその対応	利用者からの意見や要望に関しては、職員間で情報を共有し、その都度迅速に対応したほか、ホームページ上で対応等含め閲覧できるように対応した。 意見・要望については別添のとおり

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

実施方法	無記名の記入方式（通年）
結果概要	回答 584 件 来館者の接遇に対する総合的な満足度は約 98.6%（「大変良い」、「まあ良い」、「普通」の合計）、施設についての満足度は約 98.3%（「とても満足」、「まあ満足」、「普通」の合計）と、総じて高い評価を得ることができた。
利用者からの意見・ 要望とその対応	【要望】お客さんの場所で打ち合わせをされていて、話し声が気になった。 【対応】展示室で打合せをすることがあった。やむを得ず展示室内で打合せをする必要がある場合は、他の来館者への気配りをするよう徹底した。 【要望】 足が悪い人は階段の乗降ができない。スロープやエレベーターが無いことを事前に知らせてほしい。 【対応】 施設の特性上、足が悪い人にとっては観覧が難しい場所がある。排除することはできないので、ホームページでお知らせをしたが、改めて可能な対応方法と告知の方法を検討中である。

Ⅱ 管理業務に係る収支決算

【札幌芸術の森】

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

▽ 収支

項目	R 7 年度計画	R 7 年度決算	差（決算-計画）
収入	889,706	893,917	4,211
指定管理業務収入	859,592	851,080	▲ 8,512
指定管理費	703,476	729,269	25,793
利用料金	58,448	45,806	▲ 12,642
その他	97,668	76,005	▲ 21,663
自主事業収入	30,114	42,837	12,723
支出	974,706	983,541	8,835
指定管理業務支出	934,896	919,684	▲ 15,212
自主事業支出	39,810	63,857	24,047
収入-支出	▲ 85,000	▲ 89,624	▲ 4,624
利益還元			0
法人税等			0
純利益	▲ 85,000	▲ 89,624	▲ 4,624

▽ 説明

- ▼ 指定管理費については、札幌市による委託費及び光熱費の高騰に伴う補填や、アートホール及び野外ステージの改修工事に係る移転費補填を受けたこと、また賃金スライドにより増収となった。
- ▼ 利用料金収入の内訳は、主に野外美術館観覧料、工房等利用料、駐車場利用料である。最大の減少要因は、駐車場利用料収益の落ち込みであり、美術館展覧会の入場者数が伸び悩んだことに加え、アートホール及び野外ステージの休館に伴う利用者数の減少が影響した。
- ▼ その他収入には、講習会受講料、企業協賛金、他団体からの助成金に加え、実行委員会を構成して実施する事業に係る決算剰余金の配当が含まれる。美術館における入場料収益や事業課主催事業における受取負担金収入が減少したことにより、計画を下回る結果となった。
- ▼ 指定管理業務支出について、人件費や光熱費の大幅な高騰により支出が増加した。
- ▼ 自主事業については、Reflections 展に係る資材費・作品賃借料や輸送費の高騰、また入場者数不振により、計画に対して収支が悪化した。

Ⅲ 管理に関する協定書 第33条に規定する自主事業の実施状況

【札幌芸術の森】

▼ レストラン事業

センター2階の野菜を中心にしたビュッフェレストラン「ごちそうキッチン 畑のはる」では、北海道産、とりわけ札幌近郊の食材を取り入れたメニューを提供。冬季間はテイクアウトメニューを提供した。（利用者：15,002人）

▼ 売店事業

ミュージアムショップ Polaire を美術館が直接運営し、展覧会関連グッズ及び図録はもちろん、地域作家の作品やグッズの販売も行うことで、地域の美術文化を常に発信するという側面もあわせ持たせて運営している。令和4年にはオンラインショップを開設し、令和5年度からは地域作家の作品のオンライン販売も開始した。また、館蔵品をモチーフとしたオリジナルグッズも製作し、販売した。

【本郷新記念札幌彫刻美術館】

▼ 自動販売機を設置し、来場者の利便性向上に努めた。

▼ オリジナルコーヒーなどの商品開発、本郷新に関する受託商品の販売を行った。